

### ―地域に飛び出す市民国際プラザ―

#### ○ワン・ワールド・フェスティバル ブース出展

日時：2016年2月6日～7日 場所：カンテレ扇町スクエア

市民国際プラザは、2月5日（土）、6日（日）の2日間、大阪のカンテレ扇町スクエアで開催されたワン・ワールド・フェスティバルに出展をしました。

当日は、国際協力に携わるNGO/NPOや学生団体、企業、国際・行政機関など、多くのブースが出展されると共に、色々な国の料理も味わうことができ、2月の寒さを忘れるほど大いに盛り上がりました！

市民国際プラザのブースにも多くの方にお立ち寄りいただき、自治体とNGO/NPOの連携、CLAIRやJANICが取り組む事業の紹介をした他、関西地域における国際協力や多文化共生に関わる様々なお話を聞く貴重な機会となりました。

中でも、高校生や大学生が大変熱心に活動をされている印象を受け、将来が楽しみになりました。

出展を通じて、自治体やNGO/NPOの国際協力活動、多文化共生活動を知っていただく良い機会になったのではないかと思います。ここで出会った一期一会を大切に、今後の活動に繋げていきたいと思えます。



#### ○2016年度沖縄自治体間連携セミナー ～水道事業体連携による地域活性化を目指して～

日時：2016年2月26日 場所：JICA沖縄

JICA沖縄で開催された、2016年度沖縄自治体間連携セミナー～水道事業体連携による地域活性化を目指して～に出席しました。

近年、ODA事業の実施にあたっては、途上国の開発に貢献すると同時に、「地方創生」に資する取り組み、具体的には地方自治体や民間企業の国際展開支援、地方の産業振興や国際化等、地域社会の活性化が求められています。その中で、官民を問わず国際協力事業への支援や連携を深めることは、地域の活性化や地域連携を促進することに繋がります。技術協力への支援を進める地方自治体や民間企業の経験やノウハウ、ネットワークを他の地元企業や自治体と情報共有し連携を深めることで、地域活性化と地域連携の促進が期待されます。

沖縄県で実施する水資源・水道事業運営分野に係る技術協力について、沖縄県内水道事業体間連携による水資源管理・水道事業分野への協力事例紹介を行うと共に、横浜市及び福岡市、北九州市等、水道分野における先進自治体の実践事例の報告と、今後の海外展開支援について、地域活性化並びに地方創生の観点から県内民間企業を含め意見交換が行われました。



# ○コモン・ニジュール

日時:2016年3月4日 場所:コモン・ニジュール

一般社団法人コモン・ニジュールは、2009年3月に設立した非営利法人です。西アフリカにあるニジュール共和国の子ども達を支援する活動を行っています。主な活動として、ニジュール共和国のPR「ニジュールキャラバンinジャパン」、ソーラーランタン寄贈活動、寺子屋事業等を実施しています。

実は、2011年まで、日本の24時間中、約1時間弱はニジュール産のウランで発電していた計算になるそうです。

代表の福田氏は、1978年から1980年の2年間、日本人女性としては初めてサハラ砂漠のキャンプに住んでいました。その他長年の海外経験を活かし、コモン・ニジュールの日本事務所がある茨城県の地域活性化を進めるために活動をしています。



寺子屋事業  
(出展:コモン・ニジュールHP)



ソーラーランタン寄贈活動  
(出展:コモン・ニジュールHP)



福田氏が製作した絵本  
ニジュール物語を  
題材にした世界展

## ○ 国際化市民フォーラムinTOKYO 世界と日本の難民問題から考える多文化共生社会

日時:2016年2月21日 10:00-12:30 場所:ウィメンズプラザ

本フォーラムは、東京都国際交流委員会、国際交流・協力TOKYO 連絡会の主催で開催され、34名の一般市民の方や多文化共生、国際協力活動をしている方が参加しました。フォーラムのテーマは、「多文化共生社会の推進」です。

経済のグローバル化、少子高齢化が進展する中で、在住外国人の増加と定住化の傾向は今後ますます進んでいくと考えられます。このような在住外国人を取り巻く課題や問題点、国際協力の在り方などについて、国際理解を促進し問題解決への認識を深める機会として開催されました。市民国際プラザは、第一分科会「世界と日本の難民問題から考える多文化共生社会」に参加しました。前半では、国連組織や国内外で活動するNGOの活動内容から、難民問題の今を学ぶ機会となりました。日本における2015年の難民申請者は7,586人、難民認定された人は27人とのことです。制度における課題なども触れられました。

後半のパネルディスカッションでは、多文化共生社会の推進に向け、難民問題に対し市民の私たちに何ができるかを考えました。多様性を認めること、おそれずに議論をすること、政治に関心を持つことなどが挙げられました。

参加者からは、「対岸の火事ではなく、難民の方々に寄り添っていきたくと思った」などの感想が寄せられました。

- 兵庫県 産業労働部 国際局
- 神戸市 市長室 国際交流推進部
- 神戸市 市民参画局 市民協働推進課
- 神戸市 市民参画推進局 参画推進部市民協働推進課
- (公財) 神戸国際協力交流センター
- 神戸市アジア進出支援センター



H28自治体国際協力促進事業(モデル事業)に採択された、カンボジア王国国立消防訓練センター(仮称)における消防技術支援・人材育成事業(防災分野)について、ヒアリングを実施しました。先進事例として自治体とNGO/NPOの連携推進セミナーにてご紹介いただきます。

日時:2016年3月22日 場所:神戸国際協力交流センター



### 市民国際プラザ 平成28年度の予定(平成28年3月現在)

- 7月頃 自治体とNGO/NPOの連携推進セミナー
  - 9月頃 地域国際化ステップアップセミナー(九州地域)
  - 11月頃 地域国際化ステップアップセミナー(北陸地域)
- 詳細は決まり次第、HPへ掲載いたします。

市民国際プラザを広く皆様に知っていただくために、  
市民国際プラザのFacebookに「いいね!」をお願いします♪  
現在の市民国際プラザ「いいね!」数 402件

(一財)自治体国際化協会 市民国際プラザ

URL <http://www.plaza-clair.jp> E-mail [international\\_cooperation@plaza-clair.jp](mailto:international_cooperation@plaza-clair.jp)